

館報

庄内



庄内地区	
令和7年3月1日現在人口	
世帯数	7,309 戸
男	7,219 人
女	7,297 人
合 計	14,516 人
発行 庄内地区公民館	
(ゆめひろば庄内)	
電話 24-1811	
FAX 24-1812	

並柳町会

R7.3.1現在
世帯数:1717
人口:3674人



並柳町会では防犯・防災は、生活安全委員会が担当し、いろいろな活動に取り組んでいます。

町会内の連絡は、安否確認システム(オクレンジャー)を利用した「なみネット」を通じて行っており、連絡内容により全町民、町会役員、各委員会委員に向けて有効に効率的に発信しています。

①防犯の取り組み

町会内の防犯灯は約470灯あり、8年前に全てLED化しました。現在は各組の生活安全委員会からの要求や、新規造成宅地域を考慮し、毎年増設しています。

年末には防犯と火の用心を目的に、各組内での夜間パトロールを実施してきました。しかし一部町民の方々から、時代にそぐわないのではないかとこの提案があり、生活安全委員会、町会役員会

の審議を経て、中止することになりました。その代替として、前述の「なみネット」に防犯火の用心の注意喚起を送付して対応しています。

最近「押し買い」の業者が現れた際は、情報をいち早く掴み、「なみネット」で「並柳町会のXO地区あたりに押し買いが出現、注意してください。」との情報を臨時に発信しました。

②防災の取り組み

コロナ以前には、大地震を想定した避難訓練を年に1回実施していましたが、中止になっていました。5年ぶりに昨年一次避難場所までの避難訓練を実施しました。以前の一次避難場所では、町内の土地利用状況が変わっている場所もあり見直ししました。また、二次避難場所である並柳小学校の避難訓練は、避難者数の全体の対応案を見直し、「なみネット」の活用方法も併せて、次年度以降に反映していきます。

並柳町会で購入したAEDを、公民館、セブンイレブン、ローソンに設置しています。誰でも使えますし、AEDを使える人を増やすため、年に2回程度、救急救命講習を実施しています。

その他、町会内に設置している消火器、土嚢の点検、凍結防止剤の配布をしています。

並柳町会では、「大切な命・財産は地域で守る」を合言葉に防災・防犯活動に取り組んでいます。前述のような活動だけでなく、文化祭、お祭り、スポーツ等の町会内活動を通じて、町民がお互いに認識し合い、信頼することが一番大切であると考えています。

(並柳町会生活安全委員長 河田 尚文)



南新町二丁目町会

R7.3.1現在
世帯数:55
人口:122人



南新町二丁目町会組織にも、防災防犯部があり、毎年防災の日には普通河川である3番川の緊急排水ポンプ設置訓練を実施しており、その概要についてお話しします。

3番川は富士電機横から広く庄内地区の雨水を集め、町会界で田川と接し、水門を介してその多くを田川に放流し、一部は田川と並走させ、500m下流で田川に放流する構造となっています。

この水門は、松本バスターミナルの反対側に位置するが、この付近の田川は蛇行を繰り返しており、水門付近は内カーブのため、満水時には水圧がかかるようになっていきます。市の防災マップでは、この水門一帯から、広く「2階以上に避難を要する」浸水危険地域になっている、過去には幾度となく道路が冠水しています。

こんな状況の中で、町会では、天井川である田川の水位が上がった際に、3番川に逆流しないように水門を閉鎖する役目があり、閉鎖時には押し寄せる3番川の排水

対策も必要です。そのため、水門横には小型の排水ポンプが設置されていますが、それでも不足した場合は、追加でポンプの設置が必要になります。そのための訓練は、市に委託された業者が大型発電機とポンプ3台を運び込み、水門横の田川堤防上で組み立て設置するもので、町会はその運搬等に協力しています。

最後に課題として、田川の水位は状況をすぐ確認できませんが、3番川上流の状況が掴めないことです。水門を閉鎖すると上流は溢水の危険が一気に増すため、閉鎖の任がある町会としては、緊急時に上流の町会との連絡網構築や、その後の対応について訓練が必要だと感じています。

(南新町二丁目町会総務部長 水橋 文雄)



訓練の様子

新家町 町会

R7.3.1現在
世帯数:132
人口:251人



町会の戸数減少と高齢化が進む新家町は、防災防犯部長を町会長が兼ね、他の役員もほぼ兼務です。現状での防災防犯の取り組みは、『防犯灯増設とLED化・住民協力を得たホース格納型消火栓の設置と、マンションエントランス内へのAED設置・町会の消火器更新』を行い、設備面は改善が進んでいます。



維持費も協力していただきました

また、正月の三九郎の際、「川の水を大人がバケツですく、子どもも参加のバケツリレーで火消し」を今年も継続出来ています。

しかし、以前行っていた年末の夜間パトロールや消火栓を使った消火訓練は途絶えており、庄内地区として実施の筑摩小学校への避難訓練に参加する程度です。

災害時の安否確認用に連絡先提供も依頼しましたが、情報漏洩リスクからか提供

いただけない方があり、安否確認訓練が出来ていません。



資源物回収備品や掃除／草刈り用具の物置きも狭く、古く、回収自体も町会課題

更に、簡易トイレ・非常食や飲料水等の備蓄・他、非常電源などの資機材購入も町会役員で検討しましたが、「それらを保管する適切な場所がない・避難場所でもある公民館に耐震性や水漏れなどの問題があり、建替えが先」となっています。



新家町町会公民館は老朽化の為、建替え必須ですが、それにはまず「町会の法人化」が必要とのこと

建替えのための町会法人化は、地権者とその相続者の洗い出しが済み、相続人の関係聞き取りと調査の委任状を取得。それらを行政書士に預け、「法人化」申請前の段階まで漕ぎ着けています。

(編集委員 大野田 彰孝)

庄内地区の活動紹介

『メンズカフェ・散歩道』

私が生活支援員として活動している中で、福祉ひろばや公民館事業、高齢者サロンに行き感したことは「男性の参加が少ない」ということです。なぜかと話を聞いてみると、女性ばかりの集まりには行きづらい、というところでした。外出するきっかけを作ろうと思い、男性限定のメンズカフェを地元有志と公民館の共催で昨年6月から始めました。

色々と調べてみると定年退職後の男性は、家に籠ってしまいう傾向があると分かりました。そこで、ターゲットを65歳以上にし、居場所にできればと考えました。

広報活動は、町会回覧の他に公民館に掲示、高齢者サロンや福祉ひろばでの周知活動、民生児童委員さんにも協力していただきました。

今のところ不定期で開催していますが、毎回15名くらい集まり、庄内地区内はもちろん、地区外や2階のス

ポーツジムに通っている方の参加もあります。お一人で来た方々が気軽に会話できる様にテーマを決め、最初は昔懐かしいLPレコードにしました。レコードプレイヤーを持っていく方の協力をいただき、沢山のレコードが集まりました。ジャズや歌謡曲、フォークソングなどのジャケットを見て、音を聞いて懐かしむ、そんな楽しい会話が聞こえてきました。次回はどんなテーマにしようか、地元有志の方々と打合せしています。

ひとつひとつ、丁寧にドリップしたコーヒーは本当に美味しいです。次回は4月11日午後1時から開催します。町会回覧や松本市ホームページにも掲載しますので、お楽しみに！

散歩のついでに気軽に集える場所を目指したいと思っています。よろしくお願ひします。

(生活支援員 森下 明子)

